

戦評

大会名 平成26年度関東大会埼玉県予選
日時 平成26年5月16日 第2試合
会場 上尾市民体育館

レフリー 吉田
アンパイア 田島

		21	—	18		
		8	—	21		
大宮北	58	12	—	18	80	埼玉栄
		17	—	23		

第1P 両チームハーフコートマンツーマン。大宮北#7のジャンプシュート、栄#10のゴール下シュートから得点が始まる。お互い激しいディフェンス、高さのある栄に対して大宮北はスピードのあるジャンプシュートで対応。5分を経過して10:10のイーブン。栄はリバウンドショットが決まらず高さを生かしきれない。大宮北#7の8得点が光る。21:18 大宮北リードで1P終了。

第2P ハーフコートマンツーマンは変わらず。栄の高さに対して大宮北は果敢に飛び込んでのリバウンドでよく頑張る。栄の高いシュートブロックに大宮北のシュートが定まらなくなり、27:30と栄が逆転。大宮北がタイムアウトでリズムを取り戻そうとするがオールコートマンツーマンにシフトした栄にてこずる。残り1分30秒大宮北1:2:2ゾーンプレスでアタックするが栄は動じず得点を伸ばし29:39 栄リードで前半終了。

第3P 両チーム ハーフコートマンツーマンから入る。入りの堅かった大宮北だが#18のリバウンドショットで肩の力が抜けて動きがよくなるも栄の高さに苦しむ。33:44残り5分30秒で大宮北タイムアウト。再度1:2:2ゾーンプレスに変えるが栄はしっかり対処、ジワジワと突き放す。残り2分50秒 35:51 で大宮北再度タイムアウト。その後、一進一退。41:57で3P終了。

第4P 高さのある栄がリバウンドを制した。リバウンドへのプレッシャーが大宮北のシュートが乱れる。流れは、栄に行きかけるが大宮北#14の連続3Pシュートで、まだ定まらない。栄はタイムアウトで気持ちを落ち着かせインプレー一本しっかり決めるとすぐさま大宮気が最後のタイムアウトで勝負をかける。残り4分50秒、#14の得点で反撃したい大宮北だが栄も落ち着いて加点。リバウンドを制した埼玉栄が58:80で勝ち関東大会進出となった。

寄居城北高校 坂本